



ぼらんていあ通信

8月号
通巻 No.489

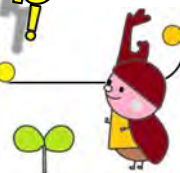
発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2022年8月23日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/

傾聴ボランティア講座(全3回)は

たくさんの方にご受講いただきありがとうございました!



第2回目の傾聴ボランティア講座を

レポート

K・M

なる、7月16日(土) 大雨の降る中、第2回目の傾聴ボランティア講座が市民会館(2階第2会議室)で開催されて受講生は34名でした。

開催冒頭、司会者から相模原市に大影響が出た事の説明があり、受講生に講座途中での退席も可能な説明がありました。

1回目と同じく続き講師の荒木乳根子先生からも、心配する言葉をいただいた後、今日の講座の流れについて説明がありました。

ボードに書かれた具体的な内容のお話になりました。3人が役割話し手、聞き手、観察者を与えられた。話し手、聞き手、観察者が進んでいきました。感想を話し合う時は、皆さんはしっかりと伝えていきました。シミュレーションの内容が進み、説明にメモを取るような雰囲気の様子や、休憩時間にも近くでお互いの話に弾みている様子が見られました。



今回の傾聴の練習テーマは「私が人間関係で感じる」ということ。

先ほどと同じく、3人が役割分担して話し合いが進みました。観察者の方は一生懸命にメモを取り、感想を伝える明るい声が響きまわりました。

途中でグループの間を荒木先生が歩いて様子を確認して回り「とても話しやすい雰囲気です」とコメントがありました。

気を付けたことでは、守秘義務ですが刑罰があるとの説明にびくびくの音が、そして、土足で踏み込まない、相手が主体であることなどの説明がありました。

最後に、荒木先生から「今、一生懸命にお話を聞いていただいた感覚を覚えておいて欲しいです」とのお話がありました。

時間通り終了し、気がつけば講義のあとが、大層も止んで受講生の皆さんも安心していました。

3回目は7月23日(土) あじさい会館で開催です。皆さんお間違えのないようにお申し込みください。



パネリストの話を熱心に傾聴する受講生 (3回目)

「7月23日(土) 最終回を迎える...」
熱心な受講生の
協会の発展に期待!

あじさい会館の階第1展示室で午後2時から全3回傾聴ボランティア講座の最終回が開催された。

講師 実際に活動しているボランティアの方々と市社会福祉協議会の職員

内容

- ①高齢者・障がい者の移送援助活動と傾聴
- ②傾聴ボランティア活動の現場で感じたこと
- ③傾聴をロールプレイで経験する
- ④ボランティア登録制度があるがバンクの紹介

司会進行役の西本敬さんが「最終回は、実際に活動している方々から、活動に寄せる思いや様子、感想などを直接聞ける良い機会と捉えてください」と挨拶した。

①高齢者・障がい者の移送援助活動と傾聴では加藤さんから「ハンディキャップの運転ボランティアをするには、国土交通省の講習を受ける必要があるが、受講料は協会が負担。車は福祉車両かセダン型(自分の車)を使用。運転ボランティアをしてポイント貯めると、自分が利用する側になった時には無償でETC料を利用して

きるポイント制がある。利用者としての車中での会話も楽しんで、お礼を言われる役に立っているという実感で達成感を味わえる」などの説明があった。

*次ページに続く

次に小川進さんが「車の運転がとにかく好き。ハンディキャップボランティア（運転と介助）が少ないのでボラ協の会員登録をさせていただいて一緒に活動して欲しい。利用者さんと会話をすることも傾聴活動と呼べると思う。決して無理をせず、自分のできる範囲で活動すればよい」と運転ボランティア経験を笑顔で語った。

②傾聴ボランティアの金井さんからは「2018年2月に受講した直後は自分ができるかと不安になったけれど、先輩の方と一緒に活動し始めた。慣れないうちは、私ならどうするか、どうした方がいいかなど自分の感想を言ってしまう。しゃべり過ぎたなど反省するところもあった。今は声の上げ下げ、声のトーン、声の大きさなど気を配っているように感じる」と傾聴活動での現場で感じたことなどの話があった。

（質問）傾聴委員会の組織運営を知りたい。

渡辺亮さんから「ケアマネージャーさんから対象となる方の紹介票と訪問依頼がくる。初回訪問で利用者さんの意向確認と協会側の対応可能性の確認を行うことから1回目以降から月1回2名体制での訪問が始まる」と詳しい説明があった。

（質問）傾聴の対象者はどのような人か。

施設入居者ではなく基本は自宅にいる人。外部の人との接触機会が少なく、家族がいても日中一人で話し相手がないとか、要介護の人の世話をしている、悩



ロールプレイングの様子

みを聞いて欲しいという場合もある。

③傾聴ロールプレイング（傾聴模擬体験）

渡辺さん主導のもと、3人1組で「話し役」傾聴希望者役、「聞き手役」「観察者役」となり、5分の持ち時間を行って1人1回ずつ体験し3回行った。

傾聴活動は、2011年3月に傾聴活動講座を開催し、講座修了者とボランティア会員が一緒に傾聴活動グループを作り今日にいたっている。介護保険などの公的な制度にない隙間をカバーするものとして必要度は高まっている。

④今日を以って講座は終了となるが、ボラ協にとって市社会福祉協議会の存在は大きく絶大な支援を受けている。市社協の井上さんから『いるかバンク登録』や防災ボランティアなどいろいろなボランティア活動があるので、趣味を生かして自分にあった活動を見つけて、楽しみながら活動をして欲しい」とのお話があった。

恒藤副会長から「コロナ禍で講座を開催しても集まっていたか心配しましたが、大勢の方々に参加いただきとても嬉しく思っています。ご支援協会にご加入いただき一緒に活動できることを楽しみにしています」と閉会の挨拶があった。

申込コーナーには、多くの受講生が集まり、質問をしたり記入する人で賑わっていた。なお、受講後、11名の方に入会いただいた。（山崎）



新会員をお迎え!

ドライバーデビューしまったく

佐藤一春



佐藤一春画

「12コンサルとして、この2年間はお客様の社のプロジェクトマネージャーをしていたのですが、内い社のプロジェクトが無事に終了（3月末）。『お仕事をひと段落、もう65歳だし、この後どう過ごすかな』と思索中、突然、ボランティアに興味を持ち、ネットでグループ、「相模原ボランティア協会」なる団体に行き当たり（5月）、あまり深く考えもせずにあじさい会館を訪問・会員登録までしちゃって（6月）、福祉有償運送運転者講習を受講（7月）、あれよあれよという間にドライバーデビュー（8月3日）。私の人生でこれほどの無計画な行動は初めて、今は遠くへ暮らす娘一家に伝えたい。「嘘でしょ、ダイジョブなの?、ヤダー」と最後の「ヤダー」は何なの?..

さて、デビューにあたり、予めグルマップやストビューを丹念に追跡して予習、しかし道の細さが気になり、ついには実際のコースをリハーサルすべし..、という結論に。リハは問題なく運行でき、手心えを感じて終えました。

いよいよ本番3日。あじさい会館前で指導役の先輩、杉本さんと待ち合わせ。昔同・ご指導いただきながらのスタートです。おかげで、混乱なく無事に終了しました。杉本さん、ありがとうございました。



インコのココちゃんと。現在2歳半の男の子。

最後に事務局に立ち寄り、H.C12号車のレクチャーを軽く受けて帰路には帰路入。駐車場に行くと会館内を歩いていると、自席でお弁当を食べる人がちらほら、あーお腹空いたー。ととても充実した一日だったとわー。

ボランティア活動グループ訪問記

活動に溢れる

相模原市視覚障害者協会（相模協）さん



取材を会長の宇都木茂さんにお願ひしたところ、7月1日（日）はやま会館3階のさがみはら市民活動サポートセンター会議室でパソコンサークルが... 勉強会は一時から3時の予定はこの前の12時から一時までを私達のために時間を作ってくださったのです。お話を伺ったのは代表の宇都木さんと理事の関田ひろみさんです。

相模協は前会長八代義男さんと代わって今年度から宇都木さんが会長に就任されました。会員は正会員、賛助会員あわせて87名で女性が圧倒的に多いです。年代は60代70代が中心だが、今日のがるがも”のほかにも合わせて80歳のサークルがあります。スポーツ、コース、編み物など以前にもボランティアで載せさせていただいた記事を思い出しました。

協会の活動はどのくらいか

昭和54年創設です。視覚障害者の福祉増進向上を



宇都木さん（右）、関田さん（左）

はがら、自己更生ととも安心して暮らせる共生社会を実現するため設立された団体です。

前会長八代さんが引退を継いでいる言葉”明るく仲良く元気づけ”を合言葉



ボランティアさんもガイドヘルパーさんも一緒になって和気あいあいに勉強会

トリーにしています。実際にサークルやイベントなどで会員の皆さんと交流する中で元気で楽しい笑い声が響き、そんな皆さんと一緒に楽しく過ごしていると、なるほどなあと感じることがあります。

活動の時の移動はどの様になっていますか

ガイドヘルパーさんやボランティアさんと一緒に移動しています。

イオンの幸せの黄色いシートキャンペーンについて

相模協の活動資金としていつも助かっています（毎月11日、イオン橋本店で買い物をした際黄色いシートを備え付けの箱に投入する仕組みです。相模原市視覚障害者協会の箱に入れていただけると集まったシートのお計金額の1%が返却されます。

ごっこや楽しむお祭りについて

会員が口頭抱えしている悩みや問題についてその解決に向けて情報交換や研修会などを行い会員相互の親睦と交流を深めています。バス旅行や各種サークル活動などボランティアの方たちにも楽しく活動しています。視覚障害者のみならず多くの方々のご入会をお待ちしています。

パソコンサークルが広がるについて

毎月第一、第三日曜日に活動。今日の参加者は5人。パソコン操作方法を手伝ってくださったボランティアさんたちも、和気あいあいで活気に溢れています



皆さんそれぞれ操作の習得に真剣です

した。体験でこられた方はスマホを使っている操作を教わっていました。

会員の連絡はどの様になっていますか

メールや墨子、それから電話で行っています。メールはスマホの画面読み上げアプリや、パソコンの画面を読み上げるスクリーンリーダーというソフトをつかい音声に変えて聴き取ります。ボイス通もメールで送れば読めてくれます。相模原市などの緊急情報などがでた際には会員の間で連絡を取りあっています。

相模協について知っていますか

会員の生活の向上をめざし、毎年視覚障害者福祉大会の中で当事者からの要望や意見をとりまとめ、市や関係団体に幅広く要望しています。会を通じて当事者の声を届け、視覚障害者のみならず、「誰一人いても奪いやすい街」の実境の一翼を担う団体としても責任を感じながら活動しています。

また、普段のサークル活動の成果を発表する機会や会員相互の親睦を深める機会として、「白い杖の文化祭」について催し物を年1度開催しています。その他の活動もおしても、会員の皆さんとの楽しみや仲間への一助になればという思いで会の運営を続けています。そして、会の存在をより多くの人に知ってもらい、一緒に活動を楽しみたいのがねえ仲間や活動に賛同していただく仲間を今後増やしていきたいです。

*次ページに続きます。

理事会報告



8月13日(土) 理事会(理事の各出席)

1、報告事項

〈広報委員会〉

・講座受講者から指摘のあったホームページのリンク切れを修正した。また、講座の様子をアップした。

〈ハンディキャップ委員会〉

・運転者交流会を10月頃に行うべく検討中。利用者からの要望とそれへの対処についてなどを話し合う。

〈事務局委員会〉

・ハンディキャップ利用者の要望と活動の範囲について利用会員に文書でお知らせした。

〈講座検討委員会〉

・7月に実施した傾聴ボランティア講座で、3日間で延べ47名が参加、内11名が会員登録となった。

〈DVD制作実行委員会〉

・会員などへのインタビュー番組(5分)を制作中。

〈傾聴委員会〉

・講座からの新入会員の受け入れについて検討した。
〈ほかほかふれあいフェスタ〉
10月15日(土)の開催に向けて準備中。コロナ感染状況に心じて詳細を決めていく。

2、審議事項

・助成金入金のタイミングと積立金取り崩しについて審議した。

・昨年度の福祉有償運送団体に市から燃料費補助の助成金が出ることとなった。

・次年度に向け役員選出管理委員会を組織する。

次回理事会は9月10日(土) 10時より

9月の記念日は？

小倉義男

9月9日、世界占いの日です。

日本占術協会が1999年に制定。この日が「重陽の節句」であること、ノストラダムスの終末の予言の日が1999年9月9日とされていたこと、制定した1999年9月9日の数字を全部合計すると46で、46の2つの数を足せば「完成」を意味する10になること、明治4年9月9日に時間の数え方を西洋式に改めたこと、この日が「救急の日」で占いは運命の救急であることから記念日として登録、たくさん理由があるんですね。



小倉画



相模原ボランティア協会 9月の予定

日	時間	内容
8/28(日)	10:00~	HC委員会
9(金)	14:00~	講座検討委員会
10(土)	10:00~	定例理事会
13(火)	14:00~	傾聴委員会
17(土)	13:00~	事務局委員会
20(火)	13:00~	ぼら通9月号印刷
21(水)	13:00~	ぼら通9月号発行

※24日(土)は事務局の臨時休業日です。

ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

〈7月の寄付者〉

4名の方からご寄付をいただきました。

〈7月の寄付金〉

24,500円でした。

THANK YOU

《お詫びと訂正》

7月号の記事で寄付者のお名前の記載が漏れていました。お詫びして訂正させていただきます。

[誤] 4名の方からご寄付をいただきました。

[正] 佐藤一春様他3名の方からご寄付をいただきました。



相模原市視覚障害者協会

会長 宇都木 茂

電話 090-3048-52809

ください。

(小山 植野)

◆最後にお知らせ

ウエルネスがみはらの2階にある視覚障害者情報センター内で「視覚障害者なども相談サロン」という事業を相模原市からの委託を受けて始めます。当事者同士の相談の場として活用してほしいです。9月から毎月2回を予定しています。詳しくは広報がみはら8月15日号に掲載しています。ご覧

理事のつばさ

ボランティアの

高橋 功

私は10数年前に理事に就任した時からボランティア協会の役割は何だかこう考えていました。

設立趣意書には①地域福祉向上②障害のある方もボランティアを③宗教や政治には係らないと書いてありますが、狙いは「社会福祉協議会の公的なサービスで解決できない部分をボラ協が担っていく役割があり、市社協とは協働関係である」ということだと思っております。

それでボラ協は当初の狙い通りに役割を果たしているか？市社協との協働関係は維持しながらボラ協を維持するためにはどうすればよいか？など主な事業の問題等をお示ししますので皆さんと共に考えていただこうと思っております。

まず、HC事業は、創立時「ハンディキャップ市民の会」として係わり事務局と一緒にそのままボラ協に入り現状に至ります。HCは足の不自由な方々の貴重な脚で價格的にもタクシーの半額以下でありこの事業から撤退するわけにはいかない。ただ、HC利用料などの収入に対し約4倍の経費が掛かり、さらに日本財団等からの福祉車両の助成の可能性は全く前調達など財政的に大きな課題を抱えています。

次に傾聴活動は2014年からスタートした事業です。本来のボラ協の役割とは違っていると思いますが、これからの少子高齢化を考えると独居老人問題や孤独死なども考えられ市や市社協の大きな課題

となる可能性があります。ボラ協は今後傾聴技術のレベルアップを図り、さらに地域傾聴ボランティアとの連携、各区ボラセンと協働し市社協の事業をバックアップしていきたいと考えています。

次にボランティア養成講座事業については中央ボランティアセンターとの共催で年2回開催していますが、ボランティアセンターや地域のボランティアの養成講座など相模原全体のボランティア人口の拡大などのお手伝い等考える必要があるのではないかと考えます。

次に広報事業については、「ほらんていあ通信」「ホームページ」そして「季刊わくわく」(現在休刊中)があり、現在でもボラ協会員だけでなく公民館などの地区にも配布しており、市社協の希望する記事も積極的に掲載していきたいと思っております。

次に事務局については、現在認定NPO法人の事務やHC調整のための業務をしているが、今後傾聴活動のための業務も必要になって来ます。

最後に財源問題です。ボラ協は会員の会費、寄付、HC収入、助成金や事業準備金で運営しています。現在の収支状況は年間60〜70万円の赤字で事業準備金の取り崩しで運営しています。これでは後10年もたないと思っております。このような問題を在任期間中に解決できなくては申し訳ありませんが、これから皆さんと一緒に考え持続可能なボラ協、市社協と協働するボラ協を作っていきたいと思っておりますので皆さんよろしくお願いいたします。

研修情報

障害平等研修 (DET) を開催

9月23日(金・祝) 10時15分から14時15分まで障害平等研修 (DET)を、相模原市産業会館1Fで開催致します。参加費無料!先着120名まで募集致します。

DETとは、障害者自身がファシリテーターとなって進める障害学習です。単に障害についての知識を得ることではなく、参加者自身が自分たちの自治体や会社、学校や団体を全ての人にとって住みやすい、働きやすい、学びやすい、参加しやすいよりインクルーシブなものへと変えていくための『行動の主体』となるための行動志向型の研修です。

今回は、様々な方に向けて広く募集をしています。それぞれにメリットがあります。例えば行政の方には相模原市の共生社会の推進をするにあたって職員の教育は不可欠です。例えば多摩市では毎年DET研修を職員向けに行うことで、障害のある方にとっての利用しやすさが劇的に変化したと言われています。教育関係者にはインクルーシブ教育を行っていくにあたり、「合理的配慮」を意識した教育現場にならなければなりません。DETは合理的配慮へと意識を変える環境整備をする側教育者にとって素晴らしい体験を提供します。更に企業向けには障害者差別解消法の改正法の成立により民間企業も合理的配慮への義務が発生するのを前もって知っておくことや、自社に合理的配慮について詳しい人が一人でもいるだけで強みになります。皆様のご応募お待ちしております。

<申し込みフォーム> <https://forms.gle/FJP8RwtztJnh2Deo9>

主催：公益社団法人 相模原青年会議所



応募フォーム



相模原市ファミリー・サポート・センター

子育てのお手伝いをしてくださる「援助会員」を募集！

空いている時間に、お住いの地域で、子育てのお手伝いをしませんか？

ファミリー・サポート・センターでは、生後0か月から小学校6年生のお子さん及びその保護者を対象に、「保育所・児童クラブ等の送迎」や「習い事の送迎」、「保護者が用事の際の一時預かり」などのサポートをしていただける援助会員を募集しています。資格は不要です。子育ての経験を生かして活動したい方、「子どもの成長に貢献したい」という熱い想いをお持ちの方、ぜひ援助会員講習会にご参加ください！！

〇令和4年度援助会員講習会日程（要事前予約・定員あり）

サポートに必要な知識を学んだり、実技を行います。開催日程は次のとおりです。

	南区合同庁舎3階 講堂 (南区相模大野5-31-1)	あじさい会館6階 展示室 (中央区富士見6-1-20)	時間 (予定)
1日目	11月 8日 (火)	令和5年2月13日 (月)	午前9時30分~午後3時
2日目	11月 9日 (水)	令和5年2月14日 (火)	午前9時30分~午後3時30分
3日目	11月11日 (金)	令和5年2月17日 (金)	午前9時30分~午後4時

※援助会員に登録するためには、各1日ずつ3日間の受講が必要です。

※保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、保健師、看護師、栄養士等の有資格者は、講習会の一部が免除になります。

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982

相模原市ファミリー・サポート・センター : 電話 042 (730) 3885

メール famisapo@sagamiharashishakyo.or.jp

その他のボランティア活動を検討されている方は、ボランティアセンターへ

電話 042 (786) 6181

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



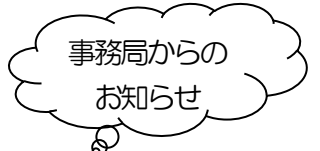
今年はずっと暑い時期が早く6月25日から7月3日まで
の9日間、熱帯夜が続きました。異常です。
その内6日間、日中は37度超えでした。
その後、今日(8月17日)まで、37度超えは3~4日
程です。
まだ、暑いは続きます。暑さに負けないよう頑張らま
しょう。(勝)

編集後記



山口尚美画

《今月のイラスト》
...やほしー... トマト(トマト)》



▼臨時休業
あじさい会館は電気設備点検のため
9月24日(土)は全館休館日となり、
事務局は、
9月24日(土)を臨時休業とします。
23日(金)・祝日、25日(日)と合わせて
3連休となります。よろしくお願ひします。

